

今年の流行語大賞に「政権交代」が選ばれ、また「事業仕分け」もトップテン入りしたそうです。偶然ですが、私は今回の一般質問でこの「政権交代」、「事業仕分け」、そして「ポートピア」に関連して質問いたします。

1、民主党政権との関係を町はどのように構築していくのか

11月21日、民主党による自治体や業界団体からの陳情、要望の受付が始まり、初日は2市と4団体が予算要望をしたことが新聞等で報道されていました。これは自治体や各種団体からの要望を都道府県連民主党が窓口となって一元的に受け付け、幹事長室に一本化するという新ルールだということですが、

①昨年度、町として国に対して行った陳情・要望は何件で、どのような陳情をされたのでしょうか。また、本年度分についてはどうでしょうか。

②政権交代後に陳情・要望はされたのでしょうか。また早急に陳情しなければならない事項は何でしょうか。

③今回の衆議院選挙では、村町長は自由民主党の北村候補を応援されたわけですが、民主党政権は少なくとも4年間は続くであろうと言われています。今後、民主党衆議院議員である近藤議員との関係はどのように築かれるお考えでしょうか。

首長と言う立場で民意を見据え、この津幡町の将来を見据え、政権与党の考えを的確に捉えた町政運営を願いたい。

2、財政健全化に向け、町も「事業仕分け」の意気込みが必要ではないか

①11月24日の新聞に、県事業の自己評価の調査結果の記事がありました。県の場合は521事業を対象に、3つの選択肢で評価され、対象となったで、「継続実施」が86・6%の451事業、6・9%の36事業が「見直し」、6・5%の34事業が「廃止」でした。「見直し」または「廃止」と回答された事業の合計が全体の13・4%の70事業に上ったとあります。

津幡町の場合、『平成20年度主要な施策の成果』という分厚い資料がそれにあたると思われます。これまで決算書に綴じ込みとなっていたものが、決算書の付属資料の形で別書類として提示されたもので、今回は人件費以外の全事業が網羅されているとのことであり、情報開示という視点からも評価できる資料であると思われます。約700の事業が評価対象となり、事業の評価は廃止、縮小、改善、現状維持、拡大の5段階となっていますが、評価結果の割合はどうなっているでしょうか。また、評価はどのような方法でなされたものでしょうか。

②11月の町広報には20年度末における津幡町の財政状況が大変わかりやすく示され、基金残高の微増や町債残高の減少など、これまでに行ってきた事業等の見直しや整理・合理化による財政効果が少しずつ表れ、将来負担比率は前年度より財政状況は緩やかながらも回復の兆しがみえるが、厳しい経済状況のもと、社会保障費の増加や税

収の減少が予測されると報告されています。

100年に一度の不況が叫ばれ、「貧困襲来」という言葉が現実となってきています。津幡町の場合、20年度の歳出総額は約115億6千万円、町民一人当たり換算すると、年間30万7989円の公金が使われたことになるそうです。100年に一度の節約感覚で、21年度事業は行われたでしょうか。21年度の当初予算で、津幡町では法人町民税の比率が少なく不況の影響が少ないことを勘案し、町税収入は前年度より1.5%減の37億3,712万円が見込みとなっていました。現状はどうなのでしょう。

自主財源の中心である町税収入は、法人税に関しては19年度の2億8000万円から20年度は2億2000万円まで落ち込み、担当課の説明では、今までにこれほど税収が下がったことはなかったとのこと、21年、22年度は非常に厳しい状況になることが予想されるということです。更に国からの交付金等の見直しも懸念されます。国の行政刷新会議が行っている「事業仕分け」を取り入れ、財政健全化に向け、歳出の無駄を洗い出し、事業の廃止、縮小など仕分け作業を徹底することが必要ではないでしょうか。

津幡町には40を超えるさまざまな委員会や協議会、審議会があります。行政改革大綱の改革推進項目の中に審議会・委員会等の見直しも挙げられています。たとえば、これらの委員報酬を半額にカット、あるいは思い切って無償ボランティアの形にしてはどうでしょうか。ある委員の方は、町のために少しでも自分がお役に立てばと引き受けた、しかもほんの僅かな時間で、皆さんの税金を報酬の形でいただくのは本意ではないとおっしゃっていました。

また一例ですが、私も、先日開かれた津幡小学校の建設工事委員会に、文教福祉常任委員として出席して、委員報酬7,000円をいただき驚きました。多くの町民が知りたいと思っている最新情報の説明を聞き、意見を述べる機会までいただいていること自体が特権であり、仕事でもあり、今の不況の時代、特に議員には委員報酬は不要だと思います。事業が長年続けばしがらみ予算となり、慣例となった事業を変えていくことはなかなか難しいことですが、この不況こそ、全ての事業ひとつひとつを0から見直し、行政サービスのあり方を根本から考えるチャンスととらえることもできるのではないかと思います。

仕分け人を公募することも一案です。一般市民の目線で素朴で思い切ったチェック作業が期待できそうです。また、100人委員会を組織して住民と行政の協働を行っている鳥取県の智頭町や北海道の栗山町など先進自治体の例もあります。一線を退いたシニア世代の第2の社会貢献の活躍もおおいに期待できるのではないのでしょうか。先進自治体を探せばまだまださまざまな案がありましよう。

ある自治体の行財政改革に関する提言には、行財政改革はそれ自体が目的ではなく、あくまでも住民サービスの向上、住民の利益を目指すための手段であり、住民の視点に立った住民本意の改革を行うこと。行政はもとより、住民や地域全体で知恵を出し、協力していくことが重要で、そのためには情報の共有と住民参加、住民協働の推進が必要である。そして、大きな「改革」だけでなく、小さな「改善」の積み上げも大切だとありました。

こういう視点に立って、町民との協働による事業仕分け、徹底した事業仕分けをという提案について、町長の見解をお願い致します。

3、ポートピア問題を問う

先日、議員の方から、ポートピアの問題をいつまでも追及して、町の人はいんざりしているという声をいただきました。しかし、私のところへは、今もなお、ポートピアはどうなったか、絶対反対だ、自分たちの町には不要だという町民の声が届きますので質問いたします。

①「ポートピアなんぶ」の現状把握について

先進地として、議員や職員が視察された青森県の「ポートピアなんぶ」について質問します。職員については、平成18年8月10日、11日、総務部長、町民福祉部長、産業建設部長、上下水道部長、教育部長、企画財政課長補佐の6名で青森県南部町と宮城県川崎町のポートピア視察。それぞれの職員から推進の立場で視察研修復命書の報告が提出されています。

それから3年経過しました。ポートピアなんぶの現状をどう把握されていますか。環境整備費の推移、地元住民の雇用状況、町の活性化の面から、町長としての見解を含め、答弁をお願いします。

②12年前、嵐山町で起きたポートピア誘致にからむ襲撃事件の認識について

今年は、町を挙げて、木曾義仲の大河ドラマ誘致に動き出したところですが、埼玉県の嵐山町といえば、その木曾義仲生誕の地と言われているところです。偶然とはいえ、嵐山町と津幡町、私は不思議な因縁を感じます。

12年前、この嵐山町で起きたポートピア誘致にからむ襲撃事件は、悪質、凶悪な暴力事件として、当時、大々的に全国報道され、今も記憶に残る事件ですが、町長はこの事件をどのように捉え、認識されていますか。

事件の概要をお話しますと、1997年9月8日夜の8時5分ごろ、嵐山町のポートピア誘致に反対している女性議員宅を訪ねてきた二人組の男が、いきなり女性議員、渋谷さんを外に引きずり出し、金属の棒で手足をめった打ちにするという事件でした。またその10日前には、4年前まで渋谷さんが住んでいたもとの住所に移り住んだ別の女性が同様に襲撃され、左足のかかとが砕ける重症を負うという襲撃事件がありました。渋谷町議と間違えた誤認襲撃であったことが警察の調べで明らかになりましたが、暴力団が露骨に執拗にポートピア誘致工作に関与し、傷害事件まで発生したということで、埼玉県警が特別捜査班を設置し捜査が進められました。地元嵐山町をはじめ、浦和市や大宮市などの議会でも真相究明を求める決議が出され、全国から激励の声が上がったそうです。

偶然といえばあまりに偶然なのですけれど、今年の6月、嵐山町の国立女性教育会館で男女共同参画セミナーが開催され、その会場でその渋谷さんにお目にかかりました。そして、渋谷さんからポートピア事件について衝撃的な事実を教えてくださいました。

年月が経っているので事細かには思いだせないそうですが、事件の2年ほど前、埼玉県警の刑事さんがふたり訪ねてきて、渋谷さんに、ポートピア誘致の情報を掴んでいる、ぜひ反対してほしいと依頼したそうです。県警がなぜそんなことを渋谷さんに

依頼したかという点、ポートピアができれば必ずあちこちから暴力団がやってくることになる。今の県警では取り締まるだけの人員確保はとても難しいというようなことだったそうです。それで、環境問題など市民活動に積極的に取り組んでいる渋谷さんに依頼したのです。その時、渋谷さんは場外舟券売り場も、ポートピアのことも何も知らなかったのですが、それからいろいろ情報を集めて勉強して、反対運動をしたそうですが、とうとう卑劣な暴力事件が起き、結局、そのため嵐山町のポートピア計画は撤退いたしました。

巨額のお金が動くギャンブル場には必然的に暴力団が絡んでくると言われています。町長のめざす笑顔溢れる町づくり、安全安心の町づくりのために、津幡町でのポートピア建設を見直すべきです。